

令和7年度 実績報告

番号	事業名	効果	主な実績内容等
1	会費の募集 会員の募集・会費納入の推進	会費を納入いただいたことで、町民に直接的・間接的に社会福祉事業を支援していただいている。（1世帯500円）	募集期間 10月1日から3ヶ月間 会員総数 2,270件 会費総額 1,136,800円
＜地域福祉事業＞			
2	ボランティアセンター運営事業	ボランティアの相談・登録・斡旋などを実施し、新たなボランティアの発掘と育成を図った。	・ボランティアの活動状況 グループ登録者 延参加数 461名（19グループ） 個人ボランティア登録数 107名 グループ活動回数 1,574回 ・ボランティア養成講座の開催 災害炊き出し訓練コース 18名 学童クラブ体験コース 14名 ゆうあい訪問コース 5名 ママニアン体験コース 2名 ・福祉教育の推進 中学校60,000円 小学校（3校）各40,000円 （計180,000円）
			・災害ボランティアセンター立上げ訓練 実施日：12月2日 出席：職員11名 講師：千葉県ボランティアセンター 内容：災害ボランティアセンター運営支援システムを活用した立ち上げ訓練 ・茂原市災害ボランティアセンター立ち上げ訓練 実施日：1月24日 会場：茂原市総合市民センター 参加者職員：3名
3	地区社会福祉協議会事業	各関係機関と連携して、小域福祉圏を核としてボランティア活動を中心にサロンの普及を図るとともに、広報啓発を行い住民の参加意欲を高めた。	小域福祉圏（関・南白亀・白潟地区社会福祉協議会） ・関フレンドサロン・夢サロン ・見守り活動・広報発行（年2回） ・スマイルクラブと保育所の交流会助成 ・アルミ・プルトップの回収 実績 17,779円 福祉教育関係 [団体：関・南白亀・白潟地区社会福祉協議会] [学校：関小学校・南白亀小学校・白潟小学校・白子中学校・茂原高校] （福祉教育事業内容） ・南白亀地区高齢者小学校運動会招待事業 ・世代間交流 （福祉教育会議関係） ・福祉教育プログラム企画部会 ・各地区役員会開催、総会
	・介護予防の取組み	各地区社会福祉協議会主催により、「友達づくり・安否確認・介護予防」を目的にサロンを実施し、健康に不安がある、各種相談をうけたい、心配がある参加者の情報を受け、解決やサービスに繋がった。	・関地区社会福祉協議会サロン （1）開催数24回 （2）延べ参加人数 スタッフ等含め 514名 ・南白亀地区社会福祉協議会サロン （1）開催数12回 （2）延べ参加人数 スタッフ等含め 368名 ・白潟地区社会福祉協議会サロン （1）開催数12回 （2）延べ参加人数 スタッフ等含め 334名

番号	事業名	効果	主な実績内容等
＜共同募金配分金事業＞			
4	共同募金活動等の推進	地域福祉活動に不可欠な民間活動の財源確保とともに、広報啓発活動及び地域福祉の積極的な取り組み支援を図った。	赤い羽根募金（１０月１日から３ヶ月間） 目標額 2, 210, 000円 実績額 2, 111, 255円（達成率 95. 5 %） 件数 2, 372件（自治会2, 269件 その他 103件）
5	＜赤い羽根募金配分事業＞	主な配分事業：敬老祝品・スマイルクラブ助成・幼児サークル助成・地区社協助成・広報費等	＜助成事業＞ ・地区社会福祉協議会助成（３地区） ・社協広報 ・敬老祝賀品 ・防災用備品購入 ・スマイルクラブ助成 ・福祉器具貸し出し ・スマホの基本講座 （子育て支援） ・ほっぺの会助成（幼児サークル） ・子育てサロン助成 子育てサロン開催数１２回 延べ参加人数 201人（親子 88組）
6	歳末たすけあい募金	町内各種団体の年末行事への支援を行った。	歳末たすけあい募金（１０月１日から３ヶ月間） 目標額 300, 000円 実績額 500, 804円（達成率166. 9%） 件数 2, 280件（自治会：2, 271件 その他：9件） ・各種団体支援 福祉施設支援金 ボランティア連絡協議会 ゆうあい訪問慰問品配布
＜相談事業＞			
7	心配ごと相談事業	住民の日常生活の様々な相談に対し、民生委員児童委員、行政相談委員の協力を得て、相談者に助言したり、適切な機関へ紹介する等問題解決の手助けを行った。また、第２水曜日は人権擁護委員も加わった合同相談を実施し、幅広く問題解決に結び付けた。	相談取扱件数：22件 主な相談内容：財産14件、離婚3件、その他2件、 年金・健康衛生・事故 各1件 弁護士相談 3件
8	結婚相談事業	結婚対象者への出会いの場としてお見合いのセッティングを提供した。	結婚相談員連絡会 7回 お見合い件数2件 お見合いパーティー：人数が目標定員に達せず中止。
＜在宅福祉事業＞			
9	給食サービス事業	75歳以上の見守りが必要な一人暮らし高齢者に、ボランティアが調理した弁当を届け安否確認を行った。	毎月第２・４金曜日配達（年24回） 登録者数 30名 延配達数 649名
10	紙おむつ給付事業	在宅で介護保険制度の要介護４・５の認定等を受けた常時失禁している方へ年４回、紙おむつ等を給付し、在宅介護及び経済的負担の軽減を図った。	支給月 4月・7月・10月・1月（年４回） 給付者数 38名 延べ人数 151名
11	外出支援サービス事業	単独で公共交通機関を利用できない、概ね65歳以上の高齢者のみの世帯に対し、リフト付きのワゴン車により「居宅から近隣市町村の医療機関・公共機関等へ」の外出支援を行った。	登録者数 24名 延べ利用人数 461名
12	らくらくタクシー事業	高齢者を町内の医療機関、商店、公共機関等に送迎し、外出の支援を行った。	登録者数 68名 延べ利用人数 1, 102名 延べ行先件数 1, 866件

番号	事業名	効果	主な実績内容等
<貸付事業>			
13	生活援護資金貸付（町社協）	低所得者世帯へ援護資金を貸し付け、生活援護を図った。	生活援護資金（町）貸付 内 訳 貸付件数：7件 貸付総額：195,000円 貸付内容：生活保護支給までの生活費 相談延べ件数：18件
14	千葉県社協貸付事業（事務費） （コロナ特例資金 事務費）	低所得者世帯・障害者世帯・高齢者世帯に対して資金の貸付申請の支援、必要な相談支援を行い、その世帯の経済的な自立と生活の安定を図った。 新型コロナウイルス感染症の発生による休業や失業等により、一時的又は継続的に収入減収した世帯に対しコロナ特例貸付をおこなっている。その借受人に対し生活再建に向けたフォローアップ支援を行った。（面談・架電・自宅訪問・必要な機関につないだ）	生活福祉資金・臨時特例つなぎ資金 相談延べ件数：27件 生活福祉資金（コロナ特例） フォローアップ支援（電話相談・面接相談・訪問等） 延べ件数：140件
<日常の生活支援>			
15	日常生活自立支援事業	高齢者、知的障害者、精神障害者などの判断能力が不自由な者に対して、福祉サービスの利用に関する援助等を行うことにより、自立した生活が送れるように支援した。	福祉サービス利用援助事業 ・財産管理サービス ・財産保全サービス ・新規契約：1件、解約3件 ・利用者：6名
16	法人後見事業	判断力が不十分な認知症高齢者、精神障害者、知的障害者の方に、財産管理・契約などの相談、助言、後見事務ができるように事務を進めた。	関係書類の整備 法人後見受任調整会議の委員の依頼
<心身障がい者（児）福祉の推進>			
17	介護用品の貸出	リフト付きのワゴン車や車いすを無料で貸し出し、障がいのある方や高齢者の社会参加のための支援を図った。	車椅子 39件 福祉カー 34件
<児童・母子福祉の推進>			
18	交通遺児援護事業（県社協）	義務教育中の交通遺児家庭に対して、図書券や激励金又は奨励金を支給し、経済的援助を図る。	町内の保育所・小中学校の調査を行った。
<各種団体支援>			
19	団体活動助成事業	福祉団体を助成し、活動を支援した。	保護司会 遺族会 障がい者福祉会 更生保護女性会

番号	事業名	効果	主な実績内容等
20	＜介護保険 包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）＞		
	地域包括支援センター事業	・要支援者及び日常生活総合事業対象者に対して、適切なケアマネジメントを実施し、サービス導入をしたことにより、利用者の生活の質の向上・自立支援・重度化防止へつなげた。 ・家族関係の多様化・希薄化により相談内容も複雑化している。このような状況の中、関係機関と連携を図り、利用者及び家族の支援に介入できた。 ・介護支援専門員が、包括的・継続的ケアマネジメントを実践できるように、適切な指導・助言が出来た。	1. 指定介護予防支援事業 （１）介護予防支援給付管理数 749件 2. 包括的支援事業（地域包括支援センターの運営） （１）第1号介護予防支援事業 ケアマネジメントAの作成 ケアマネマネジメントA給付管理数324件 （２）総合相談業務 相談件数 477件〔内訳は別紙のとおり〕 （３）権利擁護業務 ・成年後見制度の説明や申立てに当たっての関係機関の紹介数35件 →上記のうち市町村申立て事例数 4件 ・老人福祉施設等への措置の支援 0件 ・消費者被害等の防止 →千葉県警察が発行する啓発情報チラシの掲示し消費者被害防止に関する啓発を行った。 （４）包括的・継続的ケアマネジメント業務 〔地域ケア個別会議〕 ・令和7年7月28日 1事例 参加者：医療介護等の専門職17名・傍聴者1名 ・令和7年10月20日1事例 参加者：医療介護等の専門職14名・傍聴者なし ・令和8年1月26日 1事例 参加者：医療介護等の専門職13名・傍聴者なし 〔介護支援専門員研修〕 ・ケアマネージャーのためのBCP作成研修 ～BCPをケアマネージャーの実践に役立てよう～ 講師：天晴れ介護サービス総合教育研究所 代表取締役 榊原 宏昌氏 参加介護支援専門員数 25名

番号	事業名	効果	主な実績内容等
			3. 包括的支援事業（社会保障充実分） （1）認知症総合支援事業 〔認知症初期集中支援チーム活動〕 ・チーム活動介入（対象）事例 0 件 ・チーム医への相談・報告件数 11 件 〔長生郡 5 町村認知症初期集中支援チーム検討委員会〕 ・検討案件なしにつき開催中止 〔認知症家族会・認知症カフェ（オレンジカフェ白子）の開催〕 ・令和 7 年 9 月 26 日 南白亀ふれあいセンター 参加者 5 名 4. 介護予防・日常生活支援総合事業 〔通所 B の運営補助〕 ・ふれあい幸民館 月曜日：32 回開催 参加実人数 10 名 金曜日：30 回開催 参加実人数 11 名 〔ケアマネジメント C の作成〕 ※通所 B 利用対象者に対するケアプラン作成数 ・ふれあい幸民館 13 件 〔ケアマネジメント B の作成〕 ※通所 C 利用者に対するケアプラン作成数 ・白子げんきサロン 11 件 5. その他 介護度重度化防止推進員支援 〔介護予防出張教室〕 ・開催箇所 4 箇所（うち 2 箇所は自主開催、1 箇所は休止中。） ・開催回数 9 回実施（現任推進員数 6 名、実働 2 名。） ・参加実人数 6 名（延べ人数 36 名） 〔介護予防教室等〕 ・出張健康相談 令和 7 年 6 月 25 日 パノラマビュー白子内 参加者 4 名 ・健康講話 令和 7 年 7 月 23 日 関地区社協フレンドサロン 参加者 18 名 ・手から始める脳トレ講座 令和 7 年 11 月 7 日 関ふれあいセンター参加者 20 名 ・介護保険制度講話 令和 8 年 1 月 19 日 健康づくり推進員 参加者 21 名 ・認知機能検査（ファイブ・コグ） 参加者 8 名

番号	事業名	効果	主な実績内容等
＜介護保険 総合事業 一般介護予防事業＞			
21	いきいき健口教室事業	口腔機能訓練を実施し、口周りの筋力が強化され唾液が出るようになり呑み込みが良くなることを理解してもらうことができた。また自宅でも継続できる口腔機能訓練の実施方法等も周知できた。	開催日：令和7年4月17日 参加者数：21名
22	介護支援サポーター事業	高齢者が介護支援サポーター活動を通して積極的に社会参加し、地域貢献することを奨励するとともに、高齢者の自発的な介護予防を促進した。	・登録者34名 ・サポーター活動延べ時間991時間 ・ポイント換金者23名 ・換金額 99,100円
＜介護保険 包括的支援事業（社会保障充実分）＞			
23	生活支援体制整備事業	高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援等サービスの提供体制の構築に向けたコーディネートを行った。	（１）協議体開催 1回 出席者：白子町役場健康福祉課介護保険係 白子町地域包括支援センター 生活支援コーディネーター 主な協議内容： ①訪問活動について ②ゴミ出しボランティアについて ③管内活動状況について （２）生活便利帳の情報をラインアプリ脳若365に掲載 （３）ラインアプリ脳若365への掲載・・・28回 （４）アンケート13人実施 （５）ゴミ出しボランティア登録34名 （６）ゴミ出しボランティアお願いマッチング・・・7回 （７）高齢者からの生活相談64名 （８）お薬袋の設置：3医療機関 465枚 （９）寄贈本の配布設置：白子町公民館・はまひるがお （10）社会資源調査